



紫波ネット

紫波ネット981号 平成30年4月11日発行
岩手県紫波町
〒028-3392 紫波町紫波中央駅前二丁目3-1
編集・印刷 川嶋印刷株式会社

4

No.981 2018



交通安全に気を付けて
春からピカピカの1年生

古館地区交通安全協会(長谷川與志美会長)は、古館小学校の新1年生85人に黄色い帽子とノートを贈呈しました。贈呈式は3月7日、古館保育所で開かれ、年長児25人が参加。古館小学校の菊地力副校長と紫波警察署古館駐在所の井上和弥さん同席のもと、長谷川会長が代表児童に帽子を手渡しました。畠山詩衣奈ちゃんは「小学生になっても、横断歩道を渡るときは手を挙げて右左を確認して渡りたいです」と改めて交通安全の意識を高めていました。今回で33回目の寄贈となり、長谷川会長は「道路を渡るときはルールを守り、楽しい小学校生活を送ってください」と願いを込めました。



まちの話題★追悼夢灯り(P26)



まちの話題★町発掘調査報告会(P27)



まちの話題★あらえびすリレーコンサート(P27)

特集 平成30年度 町長所信表明概要.....02

環のくに紫波「エコ・ショップしわ」10店舗を新たに認定 05
町の公共交通 コミュニティバス「すこやか号」に乗ってみませんか? ... 06
町の人事 10

まちの予算 129億2065万円のつかいみちは? 12
里山創造フォーラム2018in紫波 22
行ってみよう めぐって学んで五感で味わう紫波探訪 28

新しい価値を創造し、 将来を担う人たちが 希望を持てる まちを目指して



町は、人口減少やインフラの老朽化など、依然として厳しい環境の中にあります。国民生活や社会経済活動の基盤であるインフラは、時代とともに変化する社会の情勢を踏まえ、必要な機能を確実に発揮し続けることが大切です。

このため、昨今の人口減少社会においても地域活力を維持し、暮らしやすさを実感できるよう、地域の実情に応じたインフラ整備や維持すべきインフラの施設機能の適正化に鋭意取り組んでまいります。

また、町を發展させていくための重要な施策の一つが、「人づくり」すなわち「教育」であると考えております。町民一人ひとりが人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会や場所で学習することができるよう努めてまいります。

町の財政見通しにつきましては、基本財源である町税について、平成29年度実績にさらなる伸びを見込むことは困難と考えられる一方、扶助費をはじめとする社会保障関連経費は引き続き増加が見込まれます。拡大する行政ニーズの中で真に行政が担うべきところを検証し、限られた経営資源である職員、施設および財源の最適な活用を進める必要があります。「減少する歳入に見合った歳出」の観点で予算を編成する一方、災害など不慮の事態に対応できる資金の確保に努めてまいります。

本年度は一期目で、時々の種を大きく育てるとともに、将来を担う人たちが希望を持つことができるような新しい種を蒔くときと考えております。

当町の誇れる食と文化、スポーツの力を含め、町の魅力を全国に発信し、多くの方々が集まるオガール地区の流れを町の東西に広げていくとともに、持てる資源を生かして新しい価値を創造することで、活力ある持続可能なまちづくりを進めてまいります。

平成30年3月議会

熊谷町長 所信表明より

町民が健康で安心して 暮らせるまちをつくります

健康・医療

- シルバーリハビリ体操を実践するボランティア団体の活動を支援し、体操を普及
- 特定健診の受診率向上(目標:60%)
- 「紫波郡地域包括ケア推進支援センター」を活用し、在宅生活における療養や看取りも含めた連携の仕組みを構築
- 介護給付費準備基金の活用により、介護保険全体の健全な運営を実施



2

産業振興による地域の活性化と定住促進を目指します



農業

- 主食用米の需給安定に向け、生産調整に的確に対応。水稻、野菜、果樹、畜産などを振興し、需要に応じた高収益作物の主産地化を支援
- 食育と併せて地産地消を推進し、地場産農畜産物の認知度向上と消費拡大を促進
- 地域の魅力が伝わる新商品の開発を支援し、地域ぐるみの6次産業化を推進

森林

- 松くい虫の被害対策として、被害松林の樹種転換や広葉樹林化を実施
- 里山保全活動の実施団体との連携を深めながら間伐材などの搬出量を安定確保し、チップ原料として有効活用

観光

- 姉妹都市である東京都日野市との交流を足がかりに、自然や歴史、温泉などの観光資源や特産品を首都圏に発信
- 「あづまねい山い湯だなプロジェクト」によりアウトドア関連産業を創出。地域活性化と交流人口の増加を目指し、観光資源を活用【地方創生】



雇用

- 工業団地の未利用地をはじめとした候補地のセールス、企業からの問い合わせへの積極的な対応により企業誘致を推進

資源循環

- 「紫波町汚泥再生処理センター」の運用開始
- 分別による資源リサイクルの推進、3R(※)の意識醸成を進めるための啓発活動を強化

※3R…リデュース：ごみになるものを買わない。リユース：資源を再利用する。リサイクル：資源の再資源化。



3

人と情報がつながり 快適で安全なまちをつくります



道路

- 生活道路の改良舗装および通学路における交通安全施設の整備、地域の主体性を生かした協働による町道などの整備の取り組みを推進
- 道路構造物の老朽化対策として、点検・診断データを生かした修繕・更新を実施

治水・大雨対策

- 二日町・高水寺地区の排水路を整備
- 河川などにおける流下阻害箇所を改善

都市整備

- 「北日詰朝日田線」と紫波インター線交差点の東側を整備
- 古館駅周辺整備に向けて、基本計画を策定し、整備に着手
- 「紫波町空家等対策計画」に基づき、所有者へ適正管理の啓発と指導。地域資源としての有効利用に向けた施策を展開

下水道・水道

- 公共下水道の未普及地区における管路整備、農業集落排水処理施設の設備更新、町管理型浄化槽の整備を実施
- 日詰川排水区のほか、宅地化が進む日詰・赤石地区を含め、雨水処理を見直し、浸水対策計画を策定



4

まちを誇りに思える子どもや
心身ともに健康な人を育てます



子育て・保育

- 学校法人による赤石地区の放課後児童施設の開所を支援
- 町営児童施設などの在り方、子どもがより豊かに育つ環境について検討

学校教育

- 「紫波町立学校再編整備基本計画(素案)」を基に、教育環境を検討
- 教育委員会内に、学力向上や生徒指導などの学校教育指導に特化した「学校教育課」を新設
- 学校給食の調理・配送業務の委託を実施

生涯学習

- 東京五輪でのバレーボール競技の事前キャンプ地を目指し、誘致活動を推進

5

対話と協働を進め、安全で豊かさを
実感できるまちをつくります



防犯・防災対策

- 自主防災組織の活動支援に取り組み、自助・共助による地域防災体制の確立に努める

総合計画

- 次期総合計画の策定に向けて、市民会議を開催

男女共同参画

- 男女共同参画推進計画「紫あ波せアップルプランⅡ」の見直しを実施

交通

- 5月からコミュニティバス「すこやか号」の運行路線とダイヤを改正

地域情報化インフラ

- 彦部、佐比内および長岡地区の一部でADSLサービスを提供している事業者への支援を行い、平成31年2月までADSLサービスの提供期間を延長
- 町が防災情報などを携帯電話などに送信するサービスを新たに導入

地方創生

- 「SAKE TOWN SHIWAプロジェクト」での実践型インターンシップおよび酒ツーリズムの実施【地方創生】
- 佐比内地区の「レストランぶどうの樹」を改修し、地域の活性化拠点施設としての機能を強化【地方創生】
- 地域で暮らす人々が中心となり経営し、課題解決を図る組織形成のモデル事業を創設



「エコ・ショップしわ」 10店舗を新たに認定



町は3月22日付で、飲食店として7店舗、小売店として3店舗を新たに「エコ・ショップしわ」として認定しました。この制度は、ごみの減量やリサイクル活動など、環境にやさしい取り組みをしている店舗を認定するものです。

認定書交付式では、審査を行ったごみ減量女性会議の瀬川智子会長が講評を行いました。飲食店については提供の仕方を工夫して食べ残しを削減している点、生産者とながり地産地消を推進している点、仕入れの工夫により廃棄物を削減している点など、経営全体を通じた環境配慮の姿勢を評価しました。小売店については、詰め替え商品を取りそろえるなど消費者への3R意識啓発の取り組みなどが評価されるとともに、バラ売りなど今後の販売形態への提案がありました。全体の評価としては、店主の若い力や高い意欲、発信力を生かし、この制度について広く町民にPRしてほしいと期待が寄せられました。

認定された10店舗の店主は、それぞれ「地産地消を大切にしながら、おいしいものを提供していきたいです」「環境やエコ、ごみ減量

について、積極的に取り組んでいきます」と意欲を見せました。

熊谷町長は「循環型まちづくりをさらに推進するためにも、今回認定されたオガール地区の特色ある各店と、町内各地にある産直の今後の活動に大いに期待しています」と激励しました。

今回の新規認定により、認定店は39店舗となりました。エコ・ショップしわ認定店では、二酸化炭素排出量削減の9つの取り組みを行うともらえる「エコビークーポン券」を使用することが出来ます。

エコ・ショップしわ認定店を積極的に活用して、町内に広がる循環型まちづくりの輪を、さらに広げていきたいと思います。



エコ・ショップしわは、このステッカーが目印です

今回認定された10店舗

1	ビストロ スロー	飲食店
2	じゃじゃめん八番	飲食店
3	炭焼専門店 サ・カ・バ 真魚板	飲食店
4	Potato deli Mameta	小売/飲食店
5	紫波マルシェ	小売

6	4832 The GRILL	飲食店
7	ご馳走 DE がんす 紫波オガール店	飲食店
8	平金商店パステル館 オガール店	小売
9	鮎清次郎 紫波店	飲食店
10	あづまね産直	小売(産直)



(左から)あづまね産直、鮎清次郎紫波店、ご馳走DEがんす紫波オガール店、紫波マルシェ、じゃじゃめん八番、ビストロスロー、4832 The GRILL、Potato deli Mameta、平金商店パステル館オガール店、炭焼専門店サ・カ・バ 真魚板



町の公共交通 コミュニティバス「すこやか号」に 乗ってみませんか？

コミュニティバス「すこやか号」と、添乗員の星川律子さん

○公共交通とは？

公共交通とは、鉄道やバス、タクシー、飛行機、船など、誰でも利用できる交通のことを言います。町内には、鉄道（ＪＲ東北本線）、路線バス（岩手県交通）、タクシー（ヒノヤタクシー、日詰タクシー、紫波タクシー）があります。その他に、１回１００円で誰でも利用できるコミュニティバス「すこやか号」があり、町が企画し、岩手県交通が運行しています。

○路線バスと コミュニティバスの違い

路線バスは、定められた路線と時刻表に従って、定められた運賃により不特定多数の旅客を輸送する自動車およびその事業で、乗合バスとも呼ばれます。町内を運行する路線バスは岩手県交通が運行しており、日詰線、長岡線、見前回り志和線および犬渕線の４路線が走っています。

一方、コミュニティバスは、自治体などが住民の移動手段を確保するために運行するバスです。市街地や中山間地などの交通空白地帯で公共交通サービスを提供した

り、主要施設や観光拠点などを循環したりするなど、さまざまな運行形態があります。路線バスとの大きな違いは、住民の交通の利便性向上を目的とする「地域住民の足」であること。子どもや高齢者など、自分で車などを運転できない人たちが通院や買い物などに行くための大切な交通手段です。

○なぜ今、コミュニティバス が必要なの？

町の高齢化率（65歳以上、平成30年2月末現在）は29.77%で、超高齢社会に突入しています。町の面積は238.98km²で、東西に約28km、南北に約13km東西に広い町域です。東西の地域は、駅やバス停から遠い地域が多いことに加え、高齢化率も特に高い傾向にあり、子どもや高齢者などが外出することが困難な場面も少なくありません。通院や買い物など、誰でも気軽に利用できるコミュニティバスはまさに地域の足。子どもから高齢者まで、誰でも気軽に利用できることが、誰で社会の実現に向け、コミュニティバスが大きく貢献すると考えられます。

コミュニティバス「すこやか号」のダイヤが変更されます

5月29日から、すこやか号の運行ダイヤを一部変更します。主な変更点は次のとおりです。

○主な変更点

①路線を一部変更します

- ・川東北線 → 「砥堀～中屋敷～西長岡」のルートの新設します
- ・川東中線 → 変更なし
- ・川東南線 → 「野上～千手堂～内黒森～横寺」のルートの新設します
- ・川西北線 → 変更なし
- ・川西中線 → 「宮手～田屋～古稻荷～さきょう荘」と「宝木～境田～競技場南口～紫波一中」を新設します
- ・川西南線 → 「紫波中央駅～ナックス～平井歯科～八卦」を新設します

②停留所を増加させ、フリー乗降区間も拡大します

- ・既存の停留所を2箇所廃止(川東北線の犬草と川西中線の中央農協前)し、これまで要望の寄せられていた箇所を中心に25箇所新設しました。このため、停留所の総数は23箇所増加します。また、乗り降りが自由にできる「フリー乗降区間」については、現行のダイヤでは川西の路線には設定がありませんでしたが、今回新たに設定します。詳細は路線マップをご覧ください。

③町の中央部を循環する路線を増便します

- ・各路線のうち、町の中央部(紫波営業所から紫波中央駅前の区間)を運行する「けやき通り線」と「桜町線」の運行本数を増便します。これにより、日詰商店街エリアとオガール地区の間の利便性が向上します。

新しいダイヤの詳細は広報と一緒に全戸配布している「紫波町コミュニティバスすこやか号時刻表(平成30年5月29日現在)」をご覧ください。

すこやか号利用者の声をお聞きしました



小笠原 悦子さん(古館地区)

普段出かける際は電車やバスなど公共交通を利用しています。また、岩手県地域公共交通活性化検討会議に公募委員として参加しています。コミュニティバス「すこやか号」は、「高齢者の方々が病院に

通うために利用するバス」という印象です。しかし、「すこやか号」の存在を広く知ってもらい、全ての年代の人がさまざまな用途で使うようになってほしいですね。「すこやか号」の一番の良さは、運転手や添乗員の方々が、何曜日にもどこで誰が乗ってくるか把握してくださっていること。高齢者の方々にとってはとてもありがたいことです。今後は高齢者の免許返納などもあり、ますます「すこやか号」を含めて公共交通が必要とされるのではないかと思います。



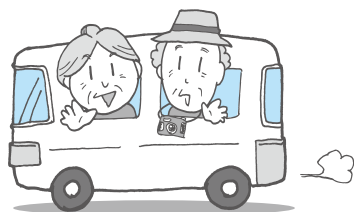
赤沢地区の利用者(女性)

病院や温泉、買い物に利用しています。なかなか外出する機会も少ないので、「すこやか号」の存在はありがたいです。添乗員さんが乗り降りの際に荷物を持ってくれたり、誰がどこで降りるかなどを覚えていてくれたりするの、すこやか号のいいところだと思います。

赤沢地区の利用者(男性)

ラ・フランス温泉に通うため、週2回「すこやか号」を利用しています。「すこやか号」は100円で利用できるのとても便利です。家から停留所まで少し遠いので、もう少し停留所が近ければいいと思います。





利用方法イメージ図

自宅近くの停留所

川東北・中・南線
(火、木曜日)

川西北・中・南線
(水、金曜日)

紫波中央駅

温泉線

けやき通り線・桜町線

JR

徒歩3分

ラ・フランス温泉館

日詰商店街

盛岡駅

オガール

どなたでも目的地まで
ワンコイン(100円)

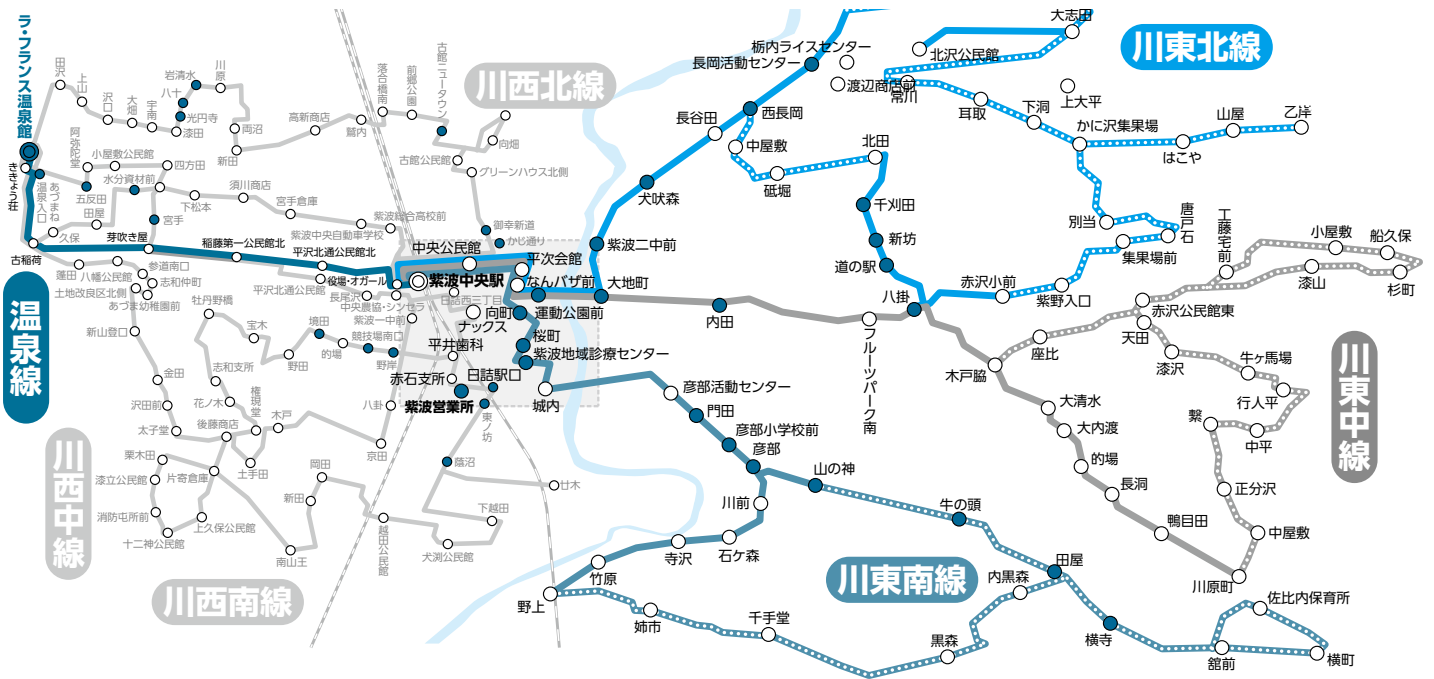
料金表	大 (中学生以上)	100円	■1回の乗車(目的地に至るまで)につき100円 ■乗り継ぎがある場合は、「乗り継ぎ券」を発行。この券を提示することで乗り継ぎは1回まで無料 ■身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている利用者、身体障害者1種または療育手帳Aに区分される利用者の介護者は、これらの手帳の提示で半額
	小学生	50円	
	小学生未満	無料	
	障がいのある人とその介護者	半額	

「すこやか号」 の路線図などをお知らせします

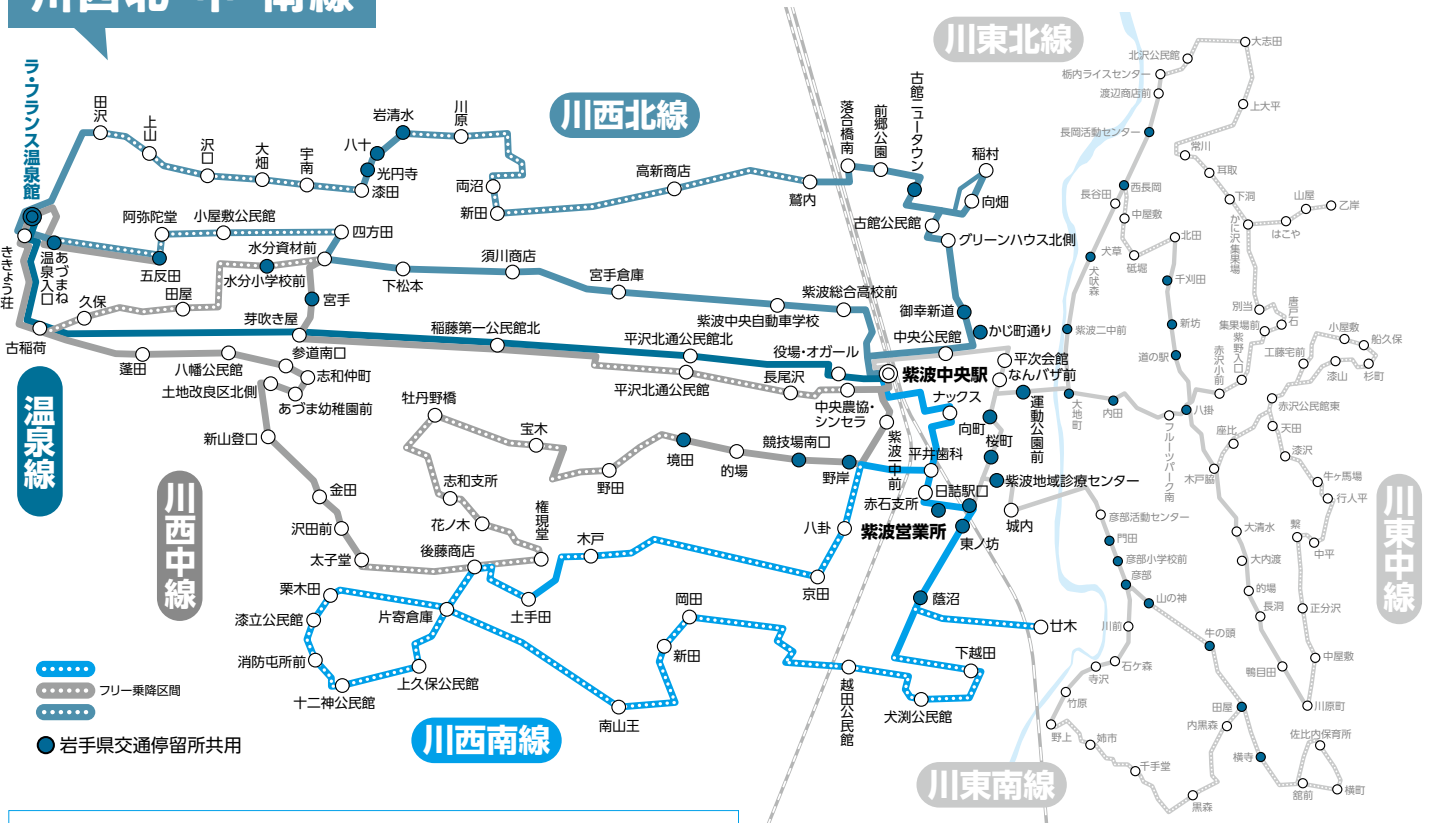
中心部拡大図



川東北・中・南線



川西北・中・南線



フリー乗降区間について

- フリー乗降とは……この区間内ならどこでも乗り降りができます。
- 乗降場所の制限……カーブや交差点などでは乗り降りできません。
- 乗り降りする時……お早めに乗務員に合図してください。
 - ご乗車の時……道幅の広い安全な場所で、バスが来たら手を上げて合図してください。
 - ご降車の時……お早めに降りる場所を乗務員に教えてください。

問合せ

企画課 総合政策室

☎672-2111 内線2311

岩手県交通株式会社 紫波営業所

☎672-2120

町の人事

町は4月1日、職員の人事異動を発令しました。定期異動119人、再任用2人、人事交流職員2人、新採用職員9人、3月31日付退職者7人をお知らせします。

【部長級】

生活部長 生活部町民課長事務取扱
羽生 広則〔企画総務部財政課長〕
産業部長 産業部環境課長事務取扱
中田 秀男〔産業部農林課長〕
企画総務部長 企画総務部企画課長事務取扱
高橋 堅〔企画総務部企画課長〕
会計管理者 企画総務部税務課長事務取扱
藤原 匡史〔産業部長〕

【課長級】

生活部 町民課 保険年金主幹
内城 拓〔情報交流館事務局長〕
生活部 長寿介護課長
野村 直子〔生活部長寿健康課高齢者支援主幹〕
生活部 健康福祉課長
工藤 圭三〔企画総務部税務課長〕
産業部 農林課長
畠山 和史〔産業部環境課長〕
産業部 商工観光課長 産業部商工観光課観光交流室長事務取扱
八重嶋 靖〔産業部商工観光課長〕
産業部 商工観光課 商工観光主幹 産業部商工観光課商工振興室長事務取扱
高田 浩一〔産業部商工観光課商工振興室長〕
企画総務部 総務課長 企画総務部総務課総務室長事務取扱、選挙管理委員会書記長
長谷川 崇〔企画総務部企画課総合政策主幹 企画総務部企画課総合政策室長事務取扱〕

企画総務部 企画課 企画主幹 企画総務部企画課地域開発室長事務取扱
鎌田 千市〔企画総務部企画課公民連携室長〕

情報交流館 事務局長
依 正行〔教育部生涯学習課長〕

企画総務部 財政課長
熊谷 浩次〔企画総務部総務課総務秘書主幹 企画総務部総務課総務秘書室長事務取扱、選挙管理委員会書記次長〕

企画総務部 財政課 財産管理主幹
中村 雅彦〔企画総務部財政課財産管理主幹 企画総務部財政課財産管理室長事務取扱〕

企画総務部 消防防災課長 企画総務部消防防災課消防防災室長事務取扱
熊谷 欣弥〔生活部長寿健康課介護保険室長〕

教育部 生涯学習課長
古内 広貴〔企画総務部消防防災課長 企画総務部消防防災課消防防災室長事務取扱〕

教育部 こども課 こども主幹 教育部こども課子育て支援室長事務取扱、子育て応援センター所長事務取扱
須川 範一〔教育部こども課子育て支援室長〕

【室長級】

生活部 長寿介護課 介護保険室長
高橋 寿〔生活部長寿健康課高齢者支援室長〕
生活部 長寿介護課 高齢者支援室長
細川 修一〔企画総務部総務課付主査 大槌町派遣〕
産業部 農林課 農政企画室長
高田 美保〔産業部農林課農政企画主査〕

産業部 農林課 林務副主幹
工藤 信吾〔産業部商工観光課観光交流室長〕

企画総務部 総務課 人事秘書室長
山上 里香〔企画総務部総務課人事室長〕

企画総務部 企画課 総合政策室長
佐々木 浩道〔企画総務部企画課協働広報室長〕

企画総務部 財政課 財政調整室長 建設部下水道課副主幹
高橋 佳治〔企画総務部財政課財産管理主査 建設部下水道課主査〕

企画総務部 財政課 財政調整副主幹
小川 篤〔企画総務部財政課財政調整主査〕

企画総務部 財政課 財産管理室長
高橋 道行〔産業部農林課農政企画室長〕

企画総務部 税務課 収納推進室長
坂本 竜二〔企画総務部税務課納税室長〕

企画総務部 税務課 副主幹
佐藤 美智雄〔産業部農林課副主幹〕

【主査級】

生活部 町民課付主査 〇岩手県後期高齢者医療広域連合派遣
大石 範仁〔生活部町民福祉課付主査 〇岩手県後期高齢者医療広域連合派遣〕
生活部 長寿介護課 介護保険主査
工藤 智之〔企画総務部財政課主査〕
産業部 農林課 農政企画主査
工藤 倍也〔産業部環境課生活環境主査〕
産業部 環境課 生活環境主査
工藤 睦〔産業部環境課主査〕

企画総務部 総務課 総務主査
千葉 基〔建設部土木課主査〕

企画総務部 企画課 総合政策主査
小田中 琢志〔産業部農林課主査〕

企画総務部 企画課 協働共創主査
倉成 絵理〔企画総務部企画課協働広報主査〕

企画総務部 企画課 公民連携主査
森川 高博〔企画総務部総務課付主査 〇般財団法人地域総合整備財団派遣〕

企画総務部 税務課 収納推進主査
工藤 真由美〔企画総務部税務課納税主査〕

企画総務部 税務課 主査
高橋 孝弘〔企画総務部税務課課税主査〕

教育部 学務課 主査
中島 芳久〔企画総務部総務課付主査〕

【主任級】

生活部 町民課 主任
熊谷 奈々子〔産業部環境課主任〕
生活部 健康福祉課 主任
赤川 徹〔企画総務部総務課主任〕
生活部 健康福祉課 主任
橋本 真一〔生活部長寿健康課主事〕
生活部 健康福祉課 主任 栄養士
森川 利佳〔古館保育所主任 栄養士 佐比内保育所主任 栄養士〕
産業部 農林課 主任
八重嶋 健〔企画総務部税務課主事〕
産業部 農林課 主任
高杉 佑〔企画総務部財政課主事〕

企画総務部 総務課 主任

熊谷 拓也「生活部町民福祉課主任」

企画総務部 総務課 主任

菅原 雅輝「教育部学務課主任」

企画総務部 総務課付(主任)(一般財団法人地域総合整備財団派遣)

阿部 祐樹「教育部いも課主任」

企画総務部 財政課 主任

高橋 哲也「企画総務部企画課主任」

企画総務部 税務課 主任

川村 将郎「建設部下水道課主任」

教育部 学校教育課 主任(教育部学務課主任)

藤原 慎也「教育部学務課主任」

教育部 とも課 主任

高橋 忠子「生活部町民福祉課主任」

教育部 とも課 主任(社会福祉士)

民部田 伶「生活部長寿健康課主任(社会福祉士)」

古館保育所 主任(栄養士)(佐比内保育所主任(栄養士))

佐々木 絵里子「生活部長寿健康課主任(栄養士)」

〔一般職員〕

生活部長寿介護課 主事

山下 知大「企画総務部税務課主事」

生活部 健康福祉課 主事

志賀 将大「企画総務部総務課主事」

産業部 環境課 主事

藤沼 純香「教育部学務課主事」

建設部 下水道課 主事

菊地 直「建設部都市計画課主事」

企画総務部 総務課付(主事)(大槌町派遣)

阿部 聖「生活部長寿健康課主事」

企画総務部 企画課 主事

川村 浩平「産業部農林課主事」

企画総務部 財政課 主事

山本 侑「生活部町民福祉課主事」

古館保育所 保育士

佐々木 愛「企画総務部総務課付(社会福祉法人共助会派遣)」

古館保育所 保育士

佐々木 彩花「企画総務部総務課付(社会福祉法人共助会派遣)」

佐比内保育所 保育士

田端 千子「古館保育所保育士」

日詰小学校 用務員

村上 祐功「紫波第三中学校用務員」

赤石小学校 用務員

佐藤 克生「片寄小学校用務員」

片寄小学校 用務員

柳澤 優「日詰小学校用務員」

紫波第三中学校 用務員

高橋 弘幸「赤石小学校用務員」

〔再任用〕

企画総務部 総務課付(主査)(宮古市派遣)

鷹觜 千春

子育て応援センター 主任保育士

藤沼 真紀子

※機構改革により、一部の課名が変更になりました。紙面では、課名以外に変更のない職員の掲載は省略します。また、職階の見直しがありました。掲載は省略します。

●退職者(3月31日付)

樽沢 久年「生活部長」

箱崎 茂「企画総務部長(選挙管理委員会書記長)」

森川 一枝「生活部長寿健康課長」

藤沼 真紀子「子育て応援センター所長」

八重嶋 志保「生活部町民福祉課福祉推進主査」

千葉 大介「企画総務部消防防災課主査(岩手県警察本部)」

本波 拓也「企画総務部総務課主任」

人事交流職員・新採用職員(4月1日付)

人事交流職員



教育部 学校教育課長
(教育部学校教育課学校教育室長事務取扱)
坂本 大 [岩手県教育委員会]



企画総務部 消防防災課
主査
赤坂 研治 [岩手県警察本部]

新採用職員



生活部 町民課 主事
藤澤 諒子



生活部 長寿介護課
主事(社会福祉士)
大石 達也



生活部 健康福祉課
主事(社会福祉士)
中居 郁佳



産業部 農林課 主事
内川 拓己



産業部 環境課付(主任)
(紫波、稗貫衛生処理組合派遣)
佐々木 聡



産業部 環境課 主事
佐々木 崇哉



建設部 土木課 技師
阿部 伸一

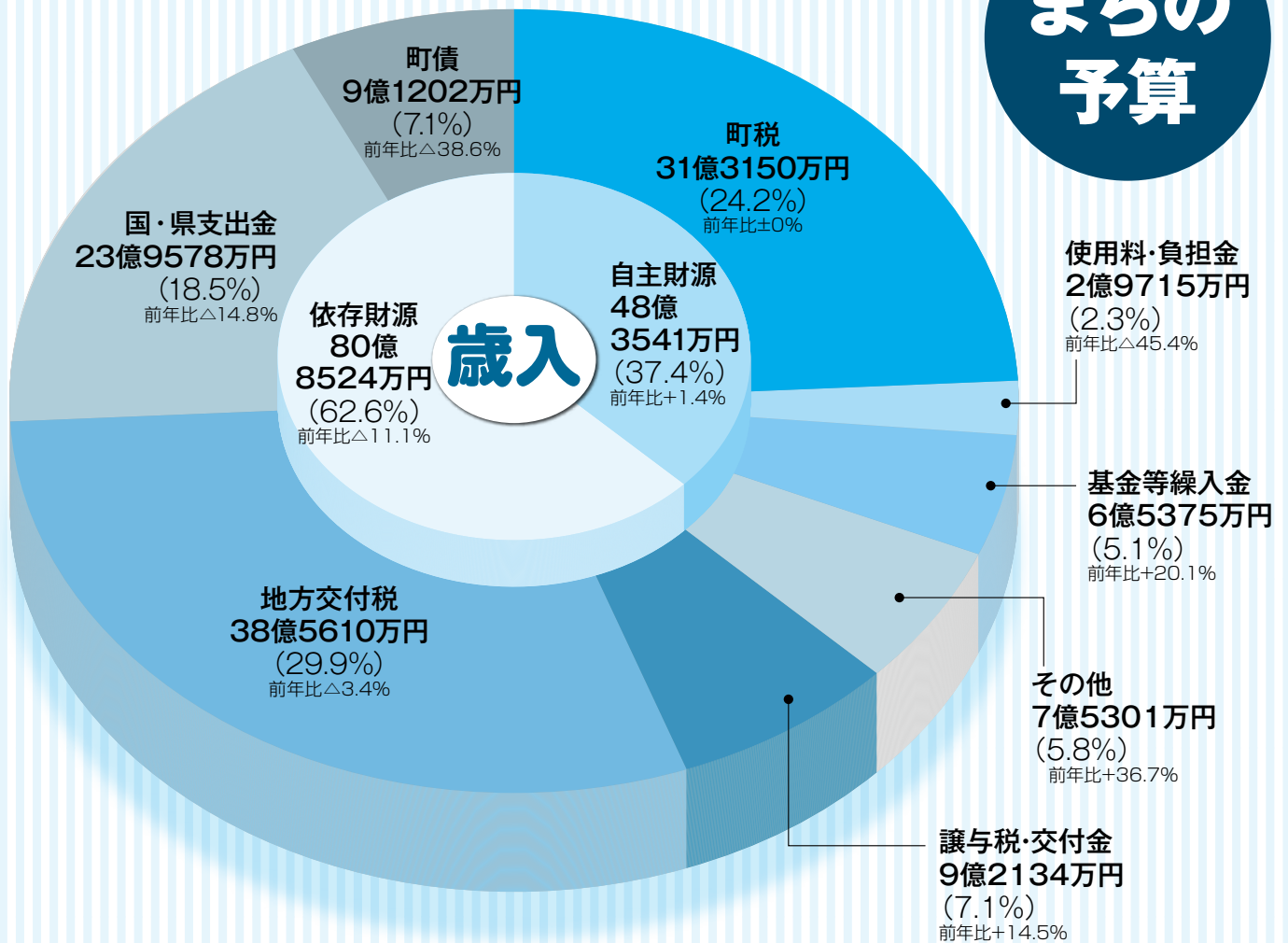


建設部 都市計画課 技師
吉田 祐太



教育部 学務課 主事
菱沼 夢紀

まちの 予算



129億2065万円の つかいみちは？

平成30年度
一般会計予算

平成30年度の一般会計予算は129億2065万円となりました。町民1人当たりになると、約39万円です。平成29年度に比べて、9億4454万円、6.8%の減額です。

町にはどんなお金が入り、どんなことに使われるのでしょうか。

入ってくるお金 【歳入】

町に入ってくるお金は、

- 皆さんが町に納めた税金(町税)
- 国に納めた税金が国から町に交付されるお金(譲与税・交付金、地方交付税)
- 使用料や負担金
- 特定の事業をするために国や県からもらう補助金
- 貯金を崩したお金(基金繰入金)
- 政府や金融機関から借りたお金(町債)などです。

入ってくるお金を、町税のように町が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や補助金、町債のように他から収入する「依存財源」に分けると、自主財源は37.4%、依存財源は62.6%で、約3分の2を他からの収入に頼っています。

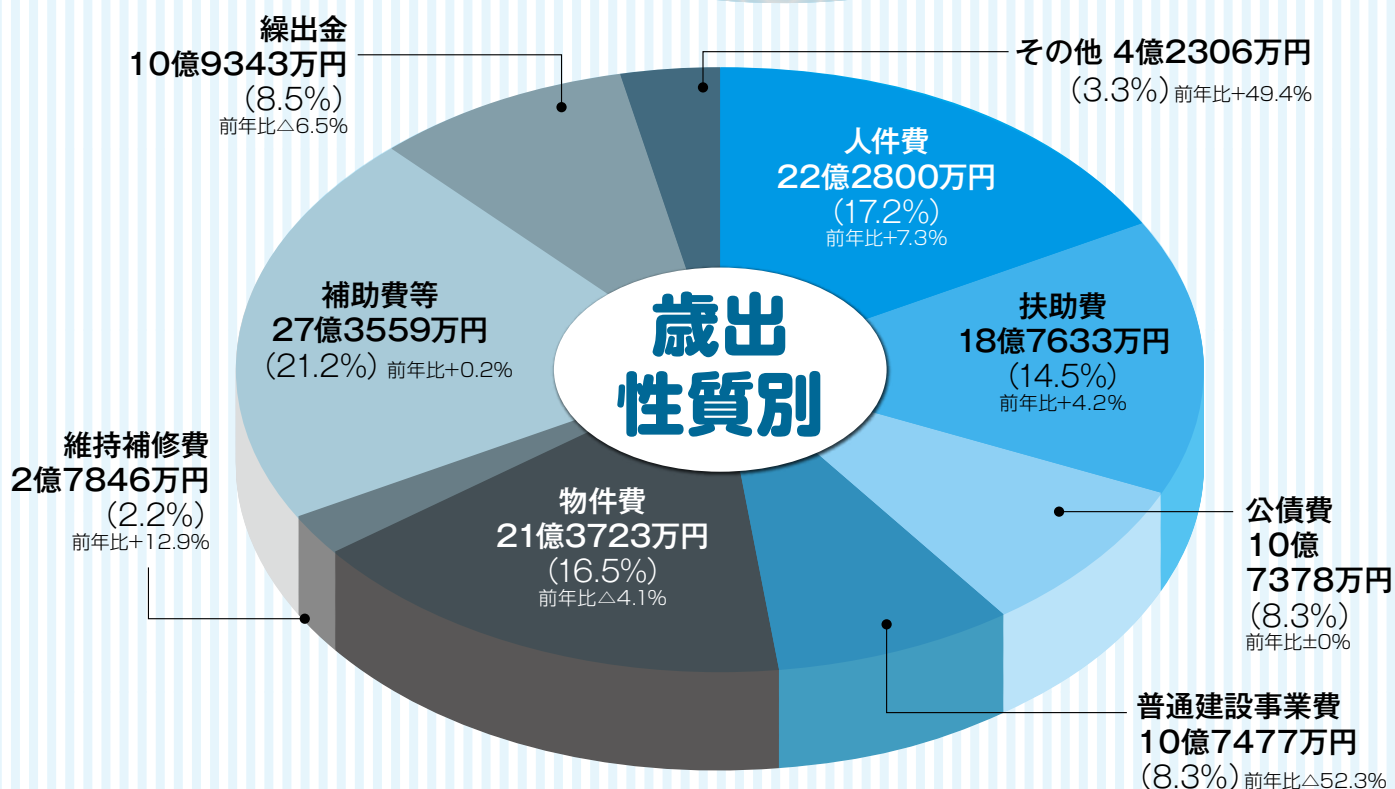
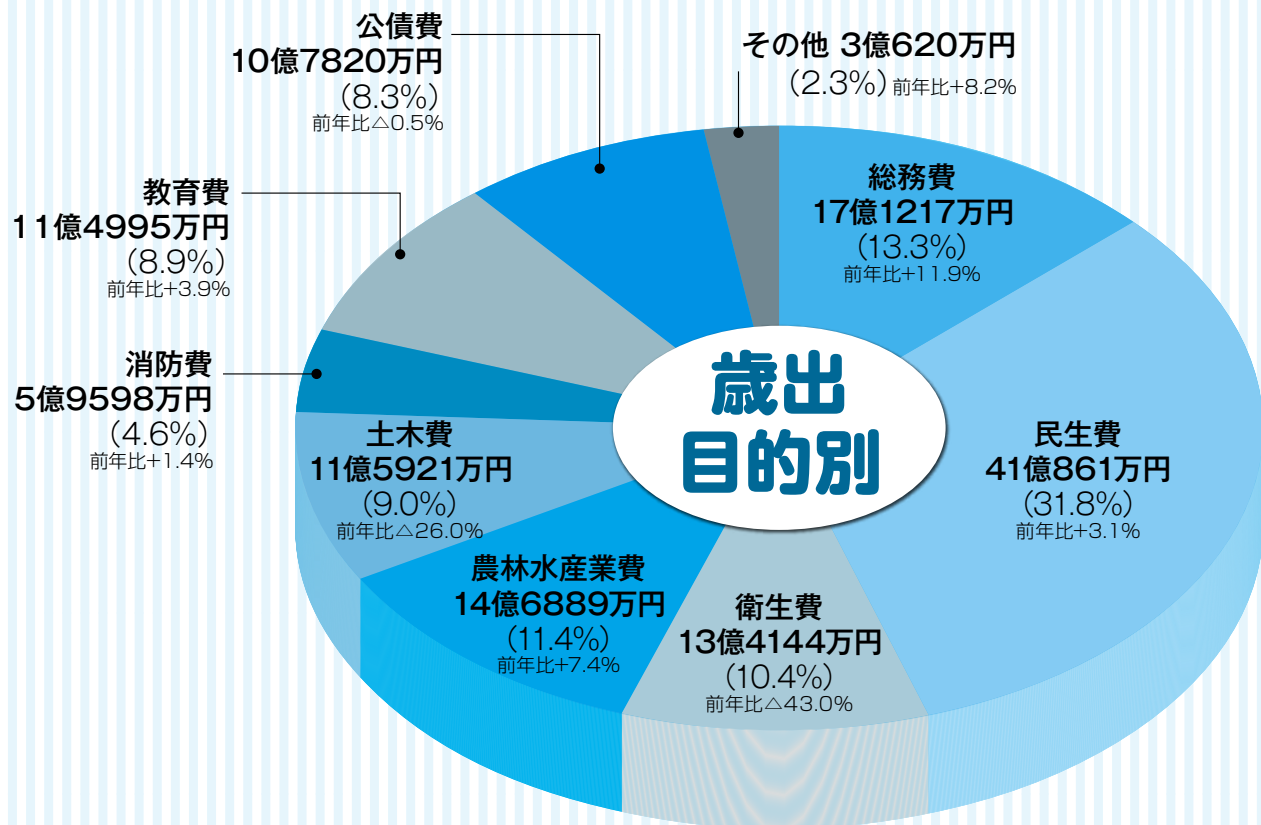
どんなことに使うのでしょ

【歳出】

町のお金がどんなことに使われるのか、目的別と性質別の2種類の表で見えてみしよう。

目的別では、障がい者や高齢者、児童福祉に使われる「民生費」が約3分の1を占めています。町の全体的な運営に使われる「総務費」や、農畜産業や林業の振興に使われる「農林水産業費」、健診・上水道などに使われる「衛生費」、道路や河川の整備・維持に使われる「土木費」、学校教育や公民館などの管理運営に使われる「教育費」の占める割合も大きいです。

性質別に分けて金額の大きい順に見てみると、補助金や負担金などの「補助費等」、議員や委員、職員に係る「人件費」、各種事務事業の委託料や賃金、備品購入費などの「物件費」、障害者福祉サービス給付費などの「扶助費」の順となっています。



新規事業・主要事業

★印は新規事業です

★汚泥再生処理施設運営事業（1億763万円）
下水道（小規模集合排水・管理型浄化槽）事業
岩手中部水道企業団出資金

⑤労働費 240万円

雇用や勤労者への制度のために

出稼労働者支援、勤労者生活安定資金貸付預託金

⑥農林水産業費 14億6889万円

農畜産業や林業の振興のために

農林業新規就業希望者支援事業補助、農業次世代人材投資交付金

★農業後継者支援対策事業補助（72万円）

※認定農業者など担い手の後継者の就農を支援する経費です。

★いわて地域農業マスタープラン実践支援事業補助（1395万円）

肥育素牛町内保留支援事業補助、畜産クラスター事業補助

★（株）いわちく出資（4127万円）

堆肥センター運営管理、中山間地域直接支払交付金

県営土地改良事業負担金（星山・犬吠森地区）

農地耕作条件改善事業、農業農村多面的機能支払交付金

下水道（農業集落排水）事業

森林病虫害防除・駆除事業

★アカマツ林広葉樹林化事業委託（299万円）

★地域林政アドバイザー設置（374万円）

※森林整備を進めるため、地域林政アドバイザーを設置する経費です。

★林業成長産業化総合対策事業補助（1310万円）

※高性能林業機械の導入へ補助するものです。

⑦商工費 1億7086万円

産業や観光の振興のために

中小企業振興資金貸付預託、利子補給・保証料補助

紫波町商工会補助、紫波町観光交流協会補助

★企業立地奨励金（119万円）

温泉保養公園（温泉館・湯楽々）管理委託

★ラ・フランス温泉館設備改修工事（1449万円）

★（株）紫波まちづくり企画出資（2500万円）

⑧土木費 11億5921万円

道路・河川・公園などの整備・維持のために

道路・橋梁・河川・公園・公営住宅維持管理

①議会費 1億2694万円

町議会の活動・運営のために

議員報酬、政務調査費、議会運営経費

★議会史編さん事業（462万円）

②総務費 17億1217万円

行政の全体的な運営、戸籍、統計、選挙などのために

★彦部佐比内地区ADSL事業費補助（621万円）

★地域運営組織支援事業（383万円）

※地域の生活や暮らしを守るための組織形成の支援や、地域の課題解決・活性化を図る上での課題と解決策を調査する経費です。

ふるさと寄附対応事業

庁舎PFI特定事業サービス購入、庁舎PFI維持管理

★総合計画策定事業（277万円）

交通対策事業

地域力創造人材育成事業、東根エリア観光資源開発事業

交通安全対策、地域防災

★全国瞬時警報システム受信機更新（645万円）

戸籍住民基本台帳費、徴税費

③民生費 41億861万円

高齢者、障がい者、子育てなどの福祉のために

障害者自立支援・障害児給付、障害者地域生活支援事業

福祉医療給付（乳児等・身障者・ひとり親など）

国民健康保険・介護保険事業特別会計繰出、後期高齢者医療事業費

★放課後児童クラブ整備費補助（4047万円）

★ファミリーサポートセンター事業（2965万円）

※乳児・児童の預かりや送迎を希望する家庭と、援助することを希望する方々の助け合いの仕組みをつくるための経費です。

児童手当、保育所・児童館・こどもの家運営

子ども等医療給付費、子ども・子育て給付事業

④衛生費 13億4144万円

健康の推進や、ごみなどの処理のために

予防接種、乳幼児・妊婦・成人健康診査

狂犬病予防事業

火葬場管理運営

飲料水供給施設設備更新

盛岡・紫波地区環境施設組合、紫波、稗貫衛生処理組合負担金

小学校複式学級指導講師設置
 スクールヘルパー設置、適応支援相談員設置
 子育て支援事業
 ★紫波町民劇場上演補助（25万円）
 文化財事業
 あらえびす記念館、公民館・図書館・運動公園・スポーツ施設運営管理
 ★総合体育館改修工事（143万円）
 学校給食費

11 災害復旧費 100万円

災害による施設被害の復旧のために

災害復旧申請用測量設計業務

12 公債費 10億7820万円

町の借金を返すために

元金償還（9億8324万円）

利子償還（8935万円）

交通安全施設整備
 道路改良・舗装
 橋梁定期点検、橋梁修繕設計・工事
 河川修繕工事、準用河川改修、雨水対策
 古館駅前都市基盤整備事業
 下水道（公共下水道）事業
 ★町営住宅外壁吹付工事（2000万円）

9 消防費 5億9598万円

消防活動のために

盛岡地区広域消防組合負担金

消防団員装備

消火栓維持管理負担金

10 教育費 11億4995万円

学校教育、公民館などの管理・運営のために

小学校・中学校管理費

外国語指導助手設置、中学生国際交流事業

特別会計・公営企業会計

保険事業は一般会計とは別に特別会計を起こして予算を管理しています。予算額を昨年と比較すると、国民健康保険事業が減額、介護保険事業が増額となりました。国民健康保険事業や介護保険事業には、保険税の軽減や保険給付のための費用として、それぞれ約2億2千万円と約4億6千万円を一般会計から繰り出しています。

下水道事業は「公営企業会計」として独立採算で運営されています。予算も収益的収支と資本的収支に区別します。

平成30年度特別会計の状況

会 計 名	予算額 (対前年増減率)	一般会計からの繰入額
国民健康保険事業	33億9556万円 (△16.0%)	2億1673万円
後期高齢者医療	2億9038万円 (+ 8.6%)	8400万円
介護保険事業	33億3087万円 (+ 1.9%)	4億5623万円
介護予防サービス計画事業	868万円 (△ 5.5%)	—
特別会計合計	70億2549万円 (△ 7.4%)	7億5696万円

平成30年度下水道事業会計の状況

予算額 (対前年増減率)	
収益的収入	12億7103万円 (△ 4.0%)
収益的支出	13億3007万円 (△ 2.7%)
資本的収入	2億236万円 (△53.9%)
資本的支出	8億5035万円 (△22.0%)



貯金はあるの？ 基金残高

借金の返済や記念館・温泉館の維持修繕のためなど、使い道が特定されている貯金があります。

平成30年度はこの貯金から約6億5千万円を下ろして使うことにしており、町の貯金の残高は年々少なくなっています。



基金名	H29年度末見込 A	H30年度中の増減見込額		H30年度末現在高 見込額 (A-B+C)
		取り崩し B	積立 C	
財政調整基金	4億3118万円	4億446万円	5000万円	7672万円
町債管理基金	2億8266万円	1億3800万円	441万円	1億4907万円
まちづくり基金	3億1464万円	2888万円	9783万円	3億8359万円
公共施設等整備基金	9834万円	7173万円		2661万円
国際交流基金	6100万円	350万円		5750万円
社会福祉事業基金	1億9337万円	690万円	11万円	1億8658万円
合 計	13億8119万円	6億5347万円	1億5235万円	8億8007万円

いったい借金って いくらあるの？ 町債残高

町の借金を「町債」といいます。本年度は、水道広域化促進事業出資金の出資債、町道改良工事や簡易給水施設更新などの建設事業債、地方交付税の不足を補う臨時財政対策債など約9億円の借金をする予定で、これまでの借金を約10億円返済する予定です。

これにより平成30年度末の町債残高は、約120億3千万円になり、町民一人あたりにすると、約36万円になります。

町債の他に、将来に向け支払う約束をしている金額(債務負担行為による支出予定額)が約46億円あります。



前年度までの地方債現在高		H30年度中の増減見込額		H30年度末現在高 見込額 (A-B+C)
H28年度末	H29年度末見込 A	元金償還額 B	起債額 C	
115億5273万円	121億526万円	9億8323万円	9億1202万円	120億3405万円
平成30年2月末人口=3万3257人				
347,377円／人	363,991円／人	29,565円／人	27,423円／人	361,850円／人
うち臨時財政対策債 54億6345万円	55億5753万円	3億6401万円	4億2032万円	56億1384万円

※臨時財政対策債とは、国の地方交付税特別会計の財源が不足した場合に、地方交付税の交付額を減らして、その穴埋めとして、該当する地方公共団体自らに地方債を発行させる制度。償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置される。

催し

元気はつつメンバ―養成講座 エクササイズコース

「自分の健康は自分でつくる」と健康づくりに取り組んでいる皆さん、運動不足を解消したい皆さん、月1回の運動を習慣にしてみませんか。

申込不要

■日時 5月7日(月)、6月4日(月)、7月2日(月)、8月6日(月)、9月3日(月)、10月1日(月)、11月5日(月)、1月7日(月)、2月4日(月)、3月4日(月)(全10回、都合のつく日のみの参加も可能)

午前10時～11時

※午前9時～10時まで体組成計を使用できます。(希望者のみ)

■会場 役場1階はつつホール

■内容 ストレッチを中心とした軽運動またはヨガ

■持ち物 室内用運動靴(靴裏が白または茶色のもの)、飲み物、汗拭きタオル

■問合せ 健康福祉課 健康推進室

☎(672)2111 内線1344

山仕事の初級教室

自分の山を持っているものの手入れができない人、里山づくりボランティアをしたい人、薪を手に入れた人など、山

仕事の仕方や山道具の安全な使い方を習得する教室です。

■日程 初回5月13日(日)

午前9時～午後3時

以降、毎月第2日曜日午前9時～午後3時(8月除く、11月は第2、4日曜日・全10回)

■内容 安全な山仕事とは、間伐する木の選び方、伐採の仕方、山仕事道具・チェーンソーの使い方、里山づくりの基礎知識を机上と実習などで体験

■参加費 3000円(全10回分)

※作業に使用する道具は貸し出しします。傷害保険は主催者で加入します。

■申込・問合せ 5月2日(水)まで

NPO法人紫波みらい研究所

☎(671)2244(日・月曜日休み)

募集

保健師(臨時職員)の募集

■応募条件 保健師資格を持つ人

■募集人員 1人

■勤務日 土曜、日曜、祝日を除く週5

日間程度

■勤務時間

午前8時30分～午後5時15分

■雇用期間 6カ月(以降更新の可能性あり)

■勤務開始日 随時(応相談)

■賃金 日額9021円

■申込方法 面接日を決定しますので、事前に総務課までお電話ください。

■問合せ 総務課 人事秘書室

☎(672)2111 内線2352

相談

認知症なんでも相談

町内に3カ所あるグループホーム認知症対応型共同生活介護事業所の職員と町の認知症地域支援推進員が認知症に関する相談に応じます。どなたでも相談できますので、気軽にご相談ください。

相談無料 申込不要

■日時 5月10日(木) 午後2時～4時

■会場 情報交流館 1階 市民交流ステージ

■問合せ

長寿介護課 高齢者支援室

☎(672)2111 内線1231

お知らせ

おたふくかぜワクチン 予防接種費用を一部助成

町は平成30年度、おたふくかぜワクチン予防接種費用の一部助成を行っています。接種を希望する場合は、実施医療機関に必ず予約の上、実施期間中に接種を受けてください。実施医療機関は町のホームページまたは健康福祉課まで問い合わせください。

■対象者 1歳から2歳までのお子さん
※既におたふくかぜに罹患したことがある人、過去に1回以上接種したことがある場合は対象になりません。

■実施期間

4月1日～平成31年3月31日

■助成回数 初回1回のみ

■助成金額 4000円(消費税分を含む)

山屋ミズバショウまつりと 国指定重要文化財などを めぐるツアー

山屋ミズバショウまつりに合わせて開催されるバスツアーです。ガイドは紫波町観光案内人「しゃ・べー」が務めます。

■日時 5月3日(木・祝)

午前9時40分集合・午後3時50分散散予定

■集合・解散場所 紫波中央駅

■コース 駅ー平井家住宅ー勝源院ー山屋ミズバショウまつり会場(山屋田植踊観賞など)ー駅

■定員 30人(先着順・最少催行20人)

■参加費 1人3500円(昼食・保険料込み)

■申込・問合せ

4月25日(水)まで
紫波町観光案内人しゃ・べー
石幡 ☎090-3364-1384

町税や保険料などの納め忘れはありませんか？

町税や保険料は、町が提供する行政サービスや保険事業の運営に必要な財源です。その収入の確保は極めて重要ですので、納期限内の納付に、皆様のご理解とご協力をお願いします。

〈町の収納対策〉

財源の確実な確保と町税や保険料負担の公平性の観点から、収納対策や滞納処分は厳正に行う必要があります。町は、町税や保険料が未納の人に対して督促状を送付し、納付催告をしています。期限までに納付されない場合は、債権確保のため財産の差し押さえを行います。滞納町税や保険料には、督促手数料100円と年8.9%の延滞金が増加されます。

- ・災害など納付が困難な特別の事情がある場合は、必ずご相談ください。減免や猶予の制度があります。
- ・町の納税催告に応じない場合や滞納額が高額の場合は、「岩手県地方税特別滞納整理機構」に滞納処分の事務を移管します。

〈岩手県地方税特別滞納整理機構とは〉

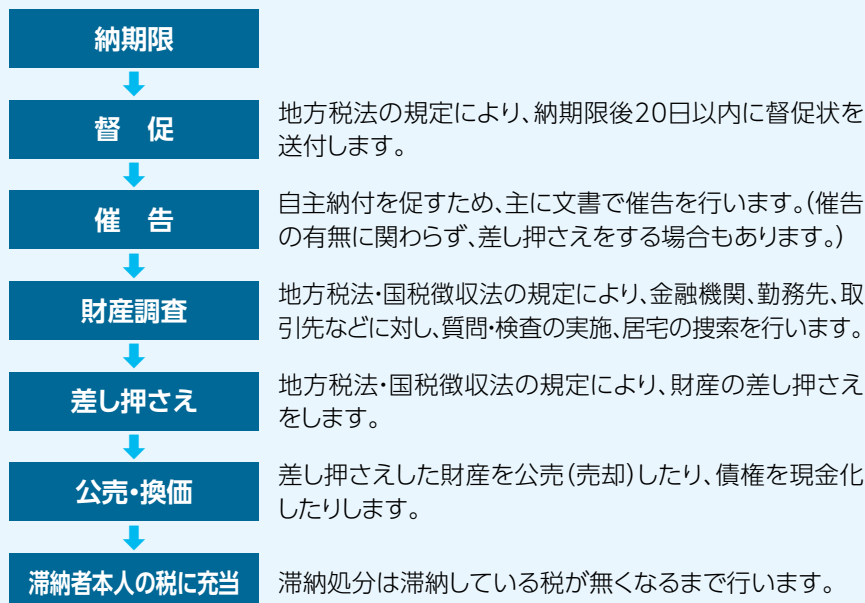
市町村の納税催告に応じない滞納者や高額滞納者などに対し、市町村から事務の移管を受けて、財産調査や捜索、差し押さえ、公売処分などを行う組織です。事務局は県庁内にあり、機構と市町村が共同で収税を確保します。

〈滞納処分とは〉

国税徴収法に基づき、滞納者の不動産(土地・建物)、給与、預貯金などの債権、動産(自動車・電化製品、骨董品など)を差し押さえ、強制徴収することを「滞納処分」といいます。納期限内に納付した人と期限を経過し納税催告を行っても納付しない人(滞納者)との納税の公平を図るために行うものです。

滞納処分までの流れ

町税などを納期限までに納付しない場合、おおむね次の手順で滞納整理を行います。



〈町税や保険料の納付についての相談窓口はこちら〉

相談時間：平日 午前8時30分～午後5時15分(月曜日は午後7時)まで

- 税金について 税務課 収納推進室
 - 介護保険料について 長寿介護課 介護保険室
 - 後期高齢者医療保険料について 町民課 保険年金室
- (※税金と保険料の滞納処分は税務課 収納推進室で行います)

【おわびと訂正】

「紫波ネット4月おしらせ版」のP8 4月の行事カレンダーに誤りがありましたので、次のとおり訂正しおわび申し上げます。
(誤)4月26日(木) 正しい歩き方教室(P2) → (正)4月27日(金) 正しい歩き方教室(P2)

※医療機関設定金額との差額は自己負担。生活保護世帯の人は全額公費負担
(事前手続必要)

■問合せ 健康福祉課 健康推進室

☎(672)2111 内線1344

使って育てる元気な森 緑の募金にご協力をお願いします

岩手県緑化推進委員会紫波支部は、今年も家庭募金を中心に春期緑の募金を実施します。行政区長を通じて募金の協力をお願いしていますので、皆様のご支援をお願いします。

苗木の申し込み方法などの詳細については、岩手県緑化推進委員会紫波支部(紫波町農林課内)へ問い合わせください。

■募金期間 5月31日(木)まで

■募金方法 各行政区で集金

■主な活用方法

・公園や公民館、学校などの公共施設

設、もしくはこれに準ずる施設の敷地内での植樹

・里山(松くい虫の被害跡地などの景観保全のために桜などの景観樹木の植樹)

・地域にある貴重な樹木の調査や保存活動

・

・ 昨年は、道の駅「紫波」の緑地、野

4/28(土)・29(日)城山桜まつり シャトルバスのお知らせ

4月28日・29日の城山さくらまつりに合わせて、シャトルバスが運行されます。当日の交通規制や一般車駐車場は『紫波ネット4月おしらせ版(3月28日発行)』をご覧ください。

【第1ルート】紫波中央駅→日詰商店街せせらぎ駐車場→城山公園第1駐車場→紫波中央駅

紫波中央駅	日詰商店街 せせらぎ駐車場	城山公園第1駐車場	紫波中央駅
10:00	10:10	10:40	11:00
11:10	11:20	11:50	12:10
12:20	12:30	13:00	13:20
13:30	13:40	14:10	14:30
14:40	14:50	15:00	15:20
15:30	15:40	16:10	16:30

【第2ルート】走湯神社→城山公園第4・5駐車場→城山公園第1駐車場→走湯神社

走湯神社	城山公園第4・5駐車場	城山公園第1駐車場	走湯神社
10:00	10:15	10:20	10:30
10:40	10:55	11:00	11:10
11:20	11:35	11:40	11:50
12:00	12:15	12:20	12:30
12:40	12:55	13:00	13:10
13:20	13:35	13:40	13:50
14:00	14:15	14:20	14:30
14:40	14:55	15:00	15:10
15:20	15:35	15:40	15:50
15:40	15:55	16:00	16:10

■問合せ 紫波町観光交流協会 ☎676-4477

①作業は準備と注意をしっかりとしましょう。

4/15(日)～6/15(金)
「春の農作業安全確認運動」
農作業こころのゆとりで事故防止

■問合せ 岩手県緑化推進委員会紫波支部
紫波町農林課内
☎(672)2111 内線2243

村胡堂・あらえびす記念館裏の里山などに植樹しました。

- ②家族に作業場所と帰宅時刻を知らせましょう。
- ③トラクターは安全フレームを装着し、運転者はシートベルトを着用しましょう。
- ④労災保険に入っていますか。労働者を雇用する場合は、ぜひ加入しましょう。
- ⑤強風・乾燥時は野焼きをしないこと。
- 問合せ 農林課 農業振興室
☎(672)2111 内線2243

英会話&英文法

春の新入会キャンペーン実施中!

詳しい内容、
お得なクーポン
はこちらから→



2018年5月31日(木)まで

4月・5月に無料
イベントをするよ!
予約してね!

特典1 レッスン料最大1ヵ月分無料!

特典2 入会金無料 (16,200円)

特典3 教材費1ヵ月分無料!



プリンスの
ここが安心

- ネイティブ講師による英会話
- 日本人講師による英文法
- 安心の月謝制
- 振替レッスンOK
- 英検・英検Jr・TOEIC IPテスト認定校

お電話にてご予約下さい

無料体験レッスン受付中

019-697-2220

プリンス
英米学院

盛岡南校

ドコモショップ
となり

紫波郡矢巾町又兵衛新田7-209-1F

(株)JAシンセラ

乙町通夜会館



1家族貸切型の
通夜会館なので

家族葬・小規模葬にも最適

【場所】盛岡市乙部4-3-1

お問合せ



中央葬祭センター「シンセラホール紫波」 ☎676-7676

ご好評につき期間延長!!

ペア入浴割引券



大人700円→500円 子ども350円→200円

※温泉館受付でこの紙面をご提示ください。※1枚で2名様まで、期間中何回でもご利用いただけます。※上記金額は入浴お一人様の料金となります。

《割引券有効期間》平成30年5月31日まで

町民
限定

お問い合わせ 紫波町小屋敷新在家90番地

☎019-673-8555

ハダカのおつきあい一家だんらん。

La France

ラ・フランス温泉館

ラ・フランス温泉館 検索 http://www.lafrance.co.jp/

大学生がお酒を使った 「地方創生」アイデアを提案

町は、3月9日～11日の3日間、お酒を通じた地域活性化の取り組みとして「SHIWA SAKE CAMP」を初めて開催しました。お酒を通じた地方創生に関心を持つ東北・首都圏の大学生17人が参加。町内の酒蔵を見学し日本酒造りや南部杜氏の歴史について学び、さまざまな分野で活躍する町民からその活動内容を聞いた後、4グループがそれぞれお酒を使った企画案を練りました。最終日には企画発表が行われ、体験型のツアー「大人の酒学旅行」や蔵を改装して自分だけの日本酒カクテルが楽しめる「蔵BAR」などの企画案を発表。昨年、町内の酒蔵でインターンシップをした岩手大学農学部3年の久保田真美さんは「酒造りを知るだけではなく、原材料も知ってほしいと思い、米作りなどを体験できる『大人の酒学旅行』を提案しました。お酒と地方創生を掛け合わせてアイデアを出すのは刺激的で勉強になりました」と話し、企画案の実現に向けて意気込んでいました。



各グループが特色ある企画案を発表

紫波町のキッズ英会話スタジオ
ハワード・イングリッシュ・クラブ
無料体験クラス実施中!

対象 **4才(年中)～15才(中3)**
場所 **オガールセンター**
電話 **019-601-8585**

ハワードイングリッシュ **検索**

注文住宅なら職人集団の会社
小松組へ

紫波町内に新居をお考えの方へ、当社施工で、
当社所有の宅地(約64坪)を格安でお譲りします。
【場所】上平沢南馬場地内 東北自動車道紫波I.Cより車で3分。上平沢小学校、紫波第三中学校まで徒歩10分

〒028-3305紫波町日詰字下丸森17 ☎019-676-3163

あなたの土地の**境界、ハッキリ**してますか?
プラスグループが 無料相談実施中
お手伝いします! まずはお電話を!

境界確定測量、土地分筆登記、農地転用、売買の仲介、買取り

不動産のプラスグループ 〒028-3305
行政書士法人グランプラス 紫波町日詰字丸盛222-1
土地家屋調査士法人グランプラス
株式会社プラス不動産サービス **019-672-5020**

医療保険適用
在宅マッサージ
無料 お試し体験実施中!!

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。
あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)

利用料につきましては、ご加入していただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.フリーダイヤル **0120-213-222**

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

メガネ新学期セール特別企画
QRコードをスマホで開いて「4つの特典」をGET!

①春のメガネお買い得情報が音声で流れます。
②メガネの正しい取扱い方を音声で説明します
③紫波町広報「紫波ネット」を声でお読みします。
④ご来店いただき「メガネの使い方講座」のスマホ音声をお聞きの方へ、レンズクリーナーをプレゼント中!

レンズ・フレームセットが好評! **眼鏡屋 目明かし堂**
近視・遠視 7,000円セット (有)佐藤時計店
遠近両用14,000円セット http://www.meakashi.com 「目明かし堂」検索

オガール店 ☎672-5572 日詰店 ☎676-2838

相心館 ゆう美容室
さくらキャンペーン実施中
もっと精度を高めるデザイン

《営業の変更案内》
【定休日】毎月曜・第2日曜・第3日曜
平日...9時開店 18時30分閉店
祝祭日...8時30分開店 17時閉店
5月は5日・6日・7日は連休致します
第2日曜...営業 第3日曜...休み

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31
TEL019-676-5825
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/
E-mail yu@posh.jp OPEN 8:45 CLOSE 18:30

新スタッフ募集中
お問い合わせください!

メール会員になると、もっとお得な情報がGETできます。携帯・スマホからアクセス! 「QR画面」表示してください。

地域おこし 協力隊だよりしわわ

このコーナーでは毎月、地域おこし協力隊が日々の活動についてお伝えします。今月の担当は、昨年4月に着任し、「移住定住促進担当」として活動する平真弓さんです。



インターン生がタイルを使ったコースター作りワークショップを開催

こんにちは。地域おこし協力隊の平です。雪が解け、日に日に暖かくなってきた風に春を感じるようになりました。春の訪れはうれしいですが、花粉症の症状を思うと少し辛く感じます。

大学生のインターンシップを受け入れて

2月から3月にかけて、「実践型インターンシップ」に参加する大学生たちと行動を共にしていました。

「実践型インターンシップ」とは、主に県外の大学などに通う学生が1〜2カ月間町に住み込み、社員と一緒に働きながらワカモノ・ヨソモノ視点で企業の課題解決に取り組むというプログラムです。町は昨年の春から酒蔵およびワイナリーで受け入れを始め、3回目となる今

回は学生の春休みに合わせて約2カ月間、計8人の大学生を受け入れました。

私は現在、日詰商店街近くの空き家を活用し、地域とつながる拠点づくりを目指すプロジェクトを始めています。今回は東京都と山形県から2人の大学生がインターン生としてプロジェクトに参加し、日詰商店街でインタビューをしたり、実験的にカフェを開いたり（『紫波ネット3月号No.979』P17掲載）、学生ならではの行動力と若い視点でさまざまなことに取り組んでくれました。

私も、年齢的には彼らと3〜4歳の差しかありませんが、SNSを使った情報発信など、どんどん新しい流行が生まれていることに気付かされました。彼らに負けないよう、時代をつかんでいかないとけないなと思いました。

着任から1年が経ちました

振り返れば、地域おこし協力隊として辞令交付を受けたのが昨年の4月11日。あつという間に1年が経ちました。

町での暮らしは初めてのことが多く、とても新鮮で刺激的なものでした。不安なことや困りごとはいつも周りの皆さんに助けていただき、本当に感謝しています。今やすっかりこの町は私にとって本当に居心地の良い場所になっています。

この1年、ひしひしと感じてきたことがあります。それは、町内には自分のやりたいことや役割をちゃんと分かって、その

上で行動している人たちがたくさんいるということです。

「思い」を形にする人には、熱があります。ストーブで暖を取るように、その人が放つ熱に集まってくる仲間がいる。そうやって、この町の魅力がつけられているのだなと感じました。

2年目は、きっとまた違う世界が見えてくると思います。大好きな紫波町で、また1年頑張りますのでこれからもよろしくお願いします。

【担当】 企画課 地域おこし協力隊
☎(672)2111 内線5126

すぐその場で
参加できるBBQ
手ぶらOK!
イートインOK!
テイクアウトOK!

MASTER OF BBQ Vol.4

2018.5.20 SUN 10:00~15:00
紫波オガール広場 入場無料

牛鶏豚各皿&
生BEER
ALL
各¥500

お問い合わせ ● 岩手まるごと協力隊(代表 八重畑) ☎090-7930-1566

2018年 ワインオーナー 募集

ワインオーナー作業体験と
オーナー専用ワインをお届け

辛口コース・甘口コース
各10,800円

詳細はホームページでも
ご確認ください。 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/>

(株)紫波フルーツパーク

☎019-676-5301

紫波町遠山字松原1-11 道の駅紫波200メートル奥

こずかた診療所 内科

■診療時間平日 9:00~12:00/13:30~17:30
■受付時間平日 8:30~11:30/13:15~17:00
■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。
■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1~5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1~5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-335 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)
☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

報告

里山創造フォーラム 2018 in 紫波



町と（一社）紫波町農林公社、NPO法人紫波みらい研究所は2月24日、情報交流館で「里山創造フォーラム2018 in 紫波」を開催しました。県内外で活躍する方々の講演や、町と協定を締結している町内の森林で活動している企業による事例発表が行われました。



「間伐により空間が広がり、シドケが見えるようになるほど風景が一変しました」と話した三田地さん

最初に講演を行ったのは、岩泉町の「阿佐三里山保全の会」代表の三田地久志さん。三田地さんは「山の手入れは防災・減災にもつ

ながります」と話し、ツリークライミングなど子どもたちも楽しめる活動を通じて山林資源を活用する事例を発表しました。



続いて「炭窯元楽炭」代表の千田淳さんが自身の製炭業を通じての思いなどを発表。自身の役割を「木炭の焼き方や窯の作り方を後世に伝えること、木炭の良さや使用方法などを伝えながら木炭の普及活動を行うこと」と話し、「炭をつくることは山の整備にも



「木炭文化を残したい」という思いで活動する千田さん

つながります。これからは集約型製炭や問屋以外の販売ルートを確認することが必要です」と課題を述べました。



その後、紫波企業の森づくり活



現在、8つの団体・企業が「紫波企業の森づくり活動」に参加し、町内森林の整備作業に取り組んでいます

動について、町内の森林で活動するDCMホームマックス(株)、TOTO東北販売(株)、東北銀行、(株)藤村商会、盛岡信用金庫の5団体がそれぞれの取り組みを発表しました。



最後は高知県のNPO法人土佐の森・救援隊で理事長を務める中嶋健造さんが「地方創生の本丸・持続発展可能な地域開発の力」を「自伐型林業」と題して講演。中嶋さんは「現在、列状間伐や過

間伐が一般化しています。限られた森林から毎年持

続的に収入を得るために、山林所有者や地域住民は長期的な多間伐施業を行い、永続的な森林経営をしなければなりません」と訴えました。



委託型ではなく、山林所有者や地域住民が主体の自伐型林業を進める必要があると話した中嶋さん

子どもたちの豊かな未来に つながる育ちを考える

町は平成29年度から、乳幼児期の子どもたちの育ちについて各児童施設の実践事例を積み上げ、育ちの理解を可視化する「紫波町幼児教育・保育共通カリキュラム」の作成に取り組んでいます。カリキュラム作成委員会がこれまで積み上げてきた成果を発表する場として、実践研究発表会を2月25日、情報交流館で開催しました。

発表では、各児童施設の職員が0～5歳児の各年齢で起こった出来事を取り上げ、その出来事が子どもたちにとってどんな気持ちや育んでいるのかということや、保育者としての接し方などについて考察。年齢に応じて、好奇心や探究心、達成感、他者への思いやりなどの気持ちや育まれていくことを共有しました。その後、各児童施設が0～5歳児のそれぞれの育ちを表現するキャッチフレーズを発表。リンゴや餅など、町の特産物を用いた表現や、キャラクターを用いた表現などがあり、それぞれの児童施設の子どもたちへの思いが込められていました。

最後は岩手大学教育学



各児童施設の代表者が子どもの育ちに関するキャッチフレーズを発表

部附属幼稚園副園長の下山恵さんが「主体性や意欲の芽は安心感を感じることにより育まれます。思いやりの心は、人からやさしくしてもらう体験の積み重ねから生まれるものであり、好奇心や探究心の育みには『やってみたい』と心が動くような環境が必要です」と講評しました。古館地区で子育て支援ひろばに関わる佐藤隆子さんは「発表の中で『質の高い保育』という言葉が何度か出てきましたが、私たち子育て支援に関わる人たちも、見守るだけでなく『質の高い見守り・子育て支援』を行う必要があると感じました。キャッチフレーズ発表では『紫あふせにおがる』など紫波町らしいものが出されていてとても良かったです」と話していました。



キラッと☆ちゃ・ちゃ・ちゃんねる



このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報をお伝えしています。今回は、本年度から仕組みなどが新しくなる町内児童施設について紹介します。

○あづま幼稚園が認定こども園(幼稚園型)になりました

あづま幼稚園(畑山俊夫園長・志和地区)は4月から、「認定こども園あづま幼稚園」になりました。園の定員170人(3歳以上)のうち、教育認定児童は150人、保育認定児童は20人になります。これにより、預かり時間は最大で午前7時30分から午後6時30分までとなります。



志和地区の滝名川沿いにある認定こども園あづま幼稚園

○旧勤労青少年ホームの建物に「日詰第二こどもの家」が移転、「日詰第三こどもの家」が新設

待機児童の解消に向け、町は本年度から、旧勤労青少年ホームの建物に日詰第二こどもの家に移転し、日詰第三こどもの家を新設します。これにより、昨年度よりも定員が30人増加することとなります。



日詰第二・三こどもの家となる旧勤労青少年ホーム

○長岡地区に放課後児童クラブ「夢アップルクラブ」が開所

夢アップルクラブは、地域団体「夢アップルクラブ運営協議会」(七木田一善代表)が運営する民間の放課後児童クラブです。多様化する子育て世帯のライフスタイルに対応するため、地元の保護者から声が上がって、開所に至りました。定員は23人で、本年度は18人が利用予定。長岡小学校の北側にある長岡児童館の一室を町から借用して運営されます。



夢アップルクラブのスタッフの皆さんと保護者、子どもたち(4月1日の入会式で撮影)



健やかランド紫波

健康と福祉の情報コーナー

【担当】健康福祉課 健康推進室 ☎672-2111 内線1340

第二次元気はつらつ紫波計画7つの領域の取り組み 「運動・身体活動」く運動は、健康の宝箱



町は、平成24年度に「第二次元気はつらつ紫波計画」を策定しました。この計画は「健康日本21（第二次）」の地方計画として策定したもので、町民一人一人が健康な状態で長生きし、元気はつらつな人生を送るために「米寿88歳まで身の回りのことは、自分で行うこと」を目標にしています。

平成28年度に中間評価を行い、「栄養・食生活」「運動・身体活動」「がんの予防」「心・休養」「たばこ」「生活習慣病」「歯の健康」の7つの領域について、それぞれ目標を設定しています。本年度も7つの計画領域について「健やかランド紫波」の中でお知らせしていきます。

今月のテーマ「運動・身体活動」

領域目標…健康のために運動する人が増加すること

中間評価結果…B 運動を週2回以上し

ている人の割合が減少しています。

元気はつらつ紫波計画では、今日からできることとして「1日に1時間以上、歩行または同等の身体活動をする」とをおすすめしています。

運動不足の解消やストレス発散、健康づくりにはウォーキングが効果的なことは広く知られていますが、なかなか取り組めずにいる人も多いのではないでしょうか。

町では元気づくり事業および介護予防事業の一環として、ウォーキング事業や運動教室を開催予定です。

初心者向けの教室も予定していますので、今まで実践できなかった方々も、運動を始めるきっかけとして参加してみませんか。

《平成30年度運動教室予定》

日時や場所などの詳細は広報『紫波ネット』などでお知らせします。（変更となる場合もあります）この他、秋からの運動教室も企画中です。

事業名	内容	時期(予定)
正しい歩き方教室	ウォーキングの基本を学びます。	4月
元気はつらつウォーク	町内各地でウォーキングします。	5月・7月・10月・1月
元気はつらつメンバー養成講座《エクササイズコース》	ストレッチや筋トレ、ヨガなどを中心とした教室です。（P17でお知らせしています）	毎月1回（4月・12月除く）
元気はつらつメンバー養成講座《総合コース》	エクササイズなどの運動と7つの領域のミニ講座を同日開催します。	2月・3月



からだよろこぶ ヘルシーレシピ

はなまんじゅう

レシピ提供／紫波町食生活
改善推進員協議会 長岡地
区会員 細川玲子さん



材料(20個分)

うるち粉……………	500g	食用色素(赤・黄・緑)	
熱湯……………	600cc	……………	各適量
小豆餡……………	400g	片栗粉……………	適量

- ①うるち粉をボウルに入れ、熱湯を注ぎながら箸でよく混ぜる。ポロポロの状態になったら手のひらを使って50回ぐらいこねる。
- ②直径10cmくらいの円形にして熱湯に入れて煮る。浮き上がって1～2分したら水の中に取り、冷ます。ボウルにとって、まとまるまでこねる。
- ③小豆餡は20gの餡玉にしておく。
- ④②の生地を半分に分け、半分は白いまま、残り半分は3等分してそれぞれ3色に色付ける。
- ⑤生地全体に片栗粉をつける。白い生地、色付けた生地を組み合わせ、1個50gにして平らにのばし、餡玉を包んで型に入れる。型がない場合には、スプーン、箸を使って花形などに成形する。

福祉と健康 すこやか情報室

【担当】健康福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1323

身体障害者手帳をご存じですか？

身体障害者手帳は、身体に障がいのある人が、障がいの種別と程度に応じた福祉サービスを利用するために必要な手帳です。身体障害者福祉法に基づき、居住地の都道府県知事が発行します。手帳の交付を受けると、障がいの程度に応じて、さまざまな福祉サービスを受けることができます。

○交付の対象となる障がい

- いずれも、永続的な障がいであることが条件です。
- ・肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳原性)
- ・視覚障がい ・聴覚または平衡機能の障がい
- ・音声・言語機能障がい
- ・そしゃく機能障がい
- ・内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓)
- ・免疫機能障がい



○等級

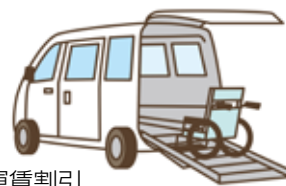
障がい程度には1級から7級までの区分がありますが、手帳が交付されるのは1級から6級までに該当する人です。また、数字が小さい方(1級)が障がいの程度は重くなります。

※7級の障がいは1つのみでは手帳交付の対象となりません。ただし、下記の条件に当てはまる場合は手帳交付の対象となります。

- ・7級の障がいが2つ以上重複する場合
- ・7級の障がいが6級以上の障がいと重複する場合

○利用できる福祉サービスの一例

- ・医療費(健康保険の自己負担分)助成
- ・補装具(車椅子、義肢、装具、盲人安全つえ、補聴器など)の購入費・修理費の給付
- ・日常生活用具(入浴補助用具、特殊マット、人口咽頭、点字器、ストマ用装具など)の給付
- ・福祉タクシー券の交付
- ・ひとにやさしい駐車場利用証の交付
- ・住宅改修費の助成
- ・所得税・住民税・相続税の控除
- ・JR・バス・飛行機・フェリー・タクシーなどの運賃割引
- ・自動車税・軽自動車税・自動車取得税の軽減
- ・携帯電話料金の割引



上記のほかにもさまざまな福祉サービスがあります。いずれも障がいの等級や種類によって利用できるサービスの内容が異なりますので、詳しくは健康福祉課へ問い合わせください。

○申請窓口・手続き方法

健康福祉課で交付申請を受け付けています。希望する人は、主治医に相談の上、①身体障害者手帳交付申請書、②身体障害者手帳用診断書・意見書(指定医が作成したもの)、③マイナンバー(個人番号)カード、④印鑑(認印可)、⑤証明写真(縦4cm×横3cm)2枚を健康福祉課へ提出してください。

15歳未満の人は、保護者が代わりに申請してください。また、申請から交付まで1～2カ月かかりますので、ご了承ください。

3/9

地域活動が評価され 紫波町消防団に栄誉



(左から)女鹿廣副団長、熊谷町長、阿部団長、小田中光雄副団長

紫波町消防団(阿部秀夫団長)は、日本消防協会から優良消防団(竿頭綬)を授与され、熊谷町長のもとを訪問しました。平成18年度に授与されて以来、3度目の授与となります。さらに、地域に密着した活動で地域防災力の向上に寄与した消防団に贈られる「消防団等地域活動表彰」を初めて受賞。阿部団長は「これからも消防団の存在や活動を知ってもらいながら、地域の皆さんと連携しながら活動を充実させたいです」と意欲を新たにしました。

3/3

山の魅力を語る 紫波×山トークショー



岩手の山の魅力を伝えるラジオ番組で共演している
阿部さん(左)と浅見さん(右)

町は昨年、東根山の魅力を知ってもらい、活用につなげようと「あづまねイイ山イイ湯だなプロジェクト」を立ち上げました。この一環として広く東根山の魅力をPRしようと、情報交流館で「紫波×山トークショー」を開催。版画家で登山家の阿部陽子さんとIBC岩手放送アナウンサーの浅見智さんが登山の魅力を語りました。参加した約200人に対し、阿部さんは「山は生き物と同じで日々状況が変化しています。山で知り合った人と一緒に自然を満喫できるのが登山の魅力。紫波のシンボル東根山をみんなで守っていくために、私も登山をする形で協力していきたいです」と話しました。

3/11

東日本大震災から7年 思いを灯りに込めて



一つ一つに明かりを灯す参加者

オガール地区で「2018東日本大震災追悼夢灯り」が開かれ、約600個の夢灯りが辺りを光で包み込みました。町内有志による実行委員会(橋浦栄一実行委員長)が中心となり、紫波総合高校の生徒やガールスカウトなど約70人が参加。犠牲者や被災地の方々に心を寄せながら、色とりどりの夢灯りに火を灯しました。ガールスカウトとして参加した星山小学校4年の工藤悠さんは「震災で犠牲になった方々や見つかっていない人の家族のことを考え、自分がその立場だったらと考えます。月日が経っても、震災のことを忘れないようにしたいです」と語っていました。

3/11

声を上げる勇気 受け止める勇気が 男女共同参画社会への一歩



「社会で生きにくさを感じる人が住みよい町であってほしい」
と話す柊咲さん

町は、情報交流館で男女共同参画セミナーを開催しました。約80人の参加者を前に、女性自治公民館長の松岡拓子さん、女性農業者の大森友紀子さん、シルバーリハビリ体操指導者の長谷川良久さん、LGBT(※)当事者の柊咲さんが自身の活動を通じての思いや気づきなどを発表。「世の中には『自分は差別されている』と言えない人、堂々と生きることができない人がたくさんいます。これは当事者だけの問題ではないので、周囲が『知りたい』と声を上げ、当事者に寄り添うことが大切です」と話す柊咲さんのお話に、参加者はうなづきながら聞き入っていました。
※LGBT…L…レズビアン、G…ゲイ、B…バイ(両性愛者)、T…トランスジェンダー(心と体の性が異なる)の頭文字をとったもので、同性愛や性別違和など性的少数派の総称

100歳おめでとう

町内の100歳以上のご長寿は橋本さん、竹原さんを含めて19人です。
(3月31日時点)

3/28

竹原 ハルノさん(志和)



熊谷町長(右)から花束を受け取ったハルノさん(右から2番目)と孫の功雄さん(左)、ひ孫の千夏さん(左から2番目)

若い頃はお話することが好きで、何でもよく食べ、朝から晩まで農業に従事していたという竹原さん。入所する施設でお祝い会が開かれ、家族や入所者、職員からたくさんの「おめでとう」の言葉を受けました。「身内が100歳まで生きることができるとは、驚きとともに不思議な感じです」と孫の功雄さん。熊谷町長は「大正から平成まで激動の時代を生き、100歳を迎えられたことは家族にとっても大きな喜びだと思います。おめでとうございます」とお祝いの言葉を述べました。

3/10

橋本 トシ子さん(佐比内)



熊谷町長(左)から花束を受け取ったトシ子さん(中央)と孫の芳男さん(右)

くよくよせずにのんびりすることが長寿の秘訣という橋本さん。3月12日に、入居する盛岡市の施設で家族や利用者、職員からお祝いを受けました。若い頃は話すことが好きで、農業に携わる一方、家庭菜園や花を育てたりしていたといいます。熊谷町長からお祝いの言葉とともに花束を受け取ると「ありがとうございます」とはきはきとした声で感謝を伝えました。孫の芳男さんは「これからものんびりと穏やかに過ごしてほしいです」と思いを話しました。

3/17

東京藝術大学器楽科有志が
華やかな演奏で観客を魅了



アンコールではピアノ1台を4人で演奏しました

野村胡堂・あらえびす記念館であらえびすリレーコンサートが開かれました。第1部は公募参加者によるコンサートを開催。不来方高校音楽コースピアノ専攻の8人がリレー形式で演奏を披露しました。第2部は東京藝術大学器楽科有志によるコンサートを実施。有森博さん、掛谷優太さん、間世田采伽さん、高野泰輔さん、長瀬賢弘さんがソロや連弾で演奏を披露。来場した勝山穂乃花さん(石鳥谷中2年)は「東京藝術大学の皆さんの演奏は力強く、曲に感情が込められていて、表現力が素晴らしいと思いました」と刺激を受けていました。

3/17

町の歴史や遺跡に触れる
町発掘調査報告会・文化財セミナー



「渡船場で働く船頭さんたちが365日天候に関わらず皆さんの暮らしを支えてきたことを覚えていてほしいです」と話した長澤さん

町発掘調査報告会・文化財セミナーが情報交流館で開かれ、約50人が参加しました。町文化財調査委員の長澤聖浩さんが『「北上川渡船場物語」から見てくる地域の歴史』と題して講演。「町ではかつて渡し舟が町の東西をつないでいました。橋の歴史の前身には渡し舟があったことを知り、東西をつなぐ橋のありがたさをかみしめてもらえれば」と話しました。続いて町文化財専門員の鈴木賢治さんが平成29年度に発掘調査を実施した杉の上Ⅲ遺跡、南日詰大銀Ⅱ遺跡の調査結果を発表。その後、町内で郷土史関係の活動を行う10団体がそれぞれの活動を発表しました。



めぐって学んで五感で味わう紫波探訪

地域の魅力は「食」の魅力。産直から、町の元気を発信します。旬の味覚や郷土料理、食のイベントを通じて、地域の魅力や生産者・販売者とのふれあいを楽しんでみませんか。



昔ながらの「田舎の産直」を目指して豊富な品そろえてお待ちしています。



▲東根山の麓にある「あづまね産直」。組合員57人が、新鮮な野菜や地域の食材を使った加工品、切り花や花苗などを出品しています
◀お話を伺った鷹鷲忠一組合長(左)と立花靖行事務局長(右)

「田舎の産直」の魅力は 安さと新鮮さ、そして生産者の笑顔！

東根山の麓にある「あづまね産直」。ラ・フランス温泉館や廣田酒造店などが集まる「あづまねエリア」の一角を担い、春は山菜や花苗、秋はキノコなど、四季折々の旬の野菜や切り花、地元の味「ピーマン味噌」などの加工品も販売しています。「田舎の産直を目指しています」と話す組合長の鷹鷲忠一さん。新鮮な食材が安く手に入る、産直本来の魅力を追求しています。事務局長の立花靖行さんをはじめ、店内には組合員の皆さんの笑顔があふれ、次々とおすすめ商品を教えてくれるアットホームなお店です。ラ・フランス温泉館で提供されている木曜日限定の「サラダバー」や、天ぷらなどに使用される野菜は、あづまね産直から直送。地元の新鮮野菜を、地域の施設で提供する仕組みです。



5月中旬には、新鮮で種類豊富な山菜や花などを販売する「里山まつり」も開催。家族みんなで、温泉や産直めぐりを楽しみに、あづまねエリアに遊びに来てみませんか。



あづまね産直
■住所 紫波町上松本字内方117
■営業時間 午前9時～午後6時(4月～9月)、午前9時～午後5時(10月～3月)
■営業日 水曜(祝日の場合は営業)
■問合せ ☎673-7364



家庭菜園にぴったりの野菜の若苗は、摘んだら洗ってそのままサラダとして食べられます。このほか、春にはパンジーなどの花苗もお得な価格で豊富に出そうなのでお見逃しなく！



【山菜が旬を迎えます】
4月の「ばっけ(ふきのとう)」をはじめ、「こごみ」や「たらめのめ」、「こしあぶら」、「うるい」など、時期ごとに豊富な山菜が並びます。おひたしや天ぷらで、春の山の味覚を楽しみましょう。